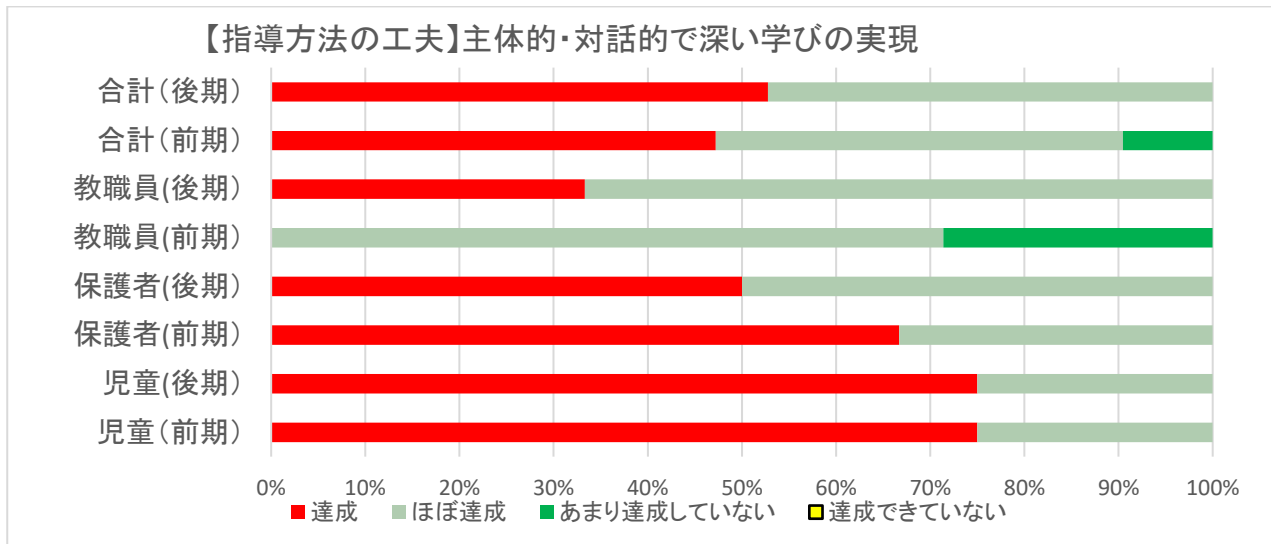


令和5年度 東士幌小学校 後期 学校評価アンケート

お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートのデータ(グラフ)と、文章でのご意見をまとめました。☆は、今後に向けた方策です。

1 【指導方法の工夫】主体的・対話的で深い学びの実現



児童：○ 先生が厳しく賢い子になれるためにしているから楽しい。先生の勉強が分かりやすい。先生が私たちのことを考えてくれて厳しくしてくれているから、勉強は楽しくできています。分かれば楽しい。わかりやすいから。

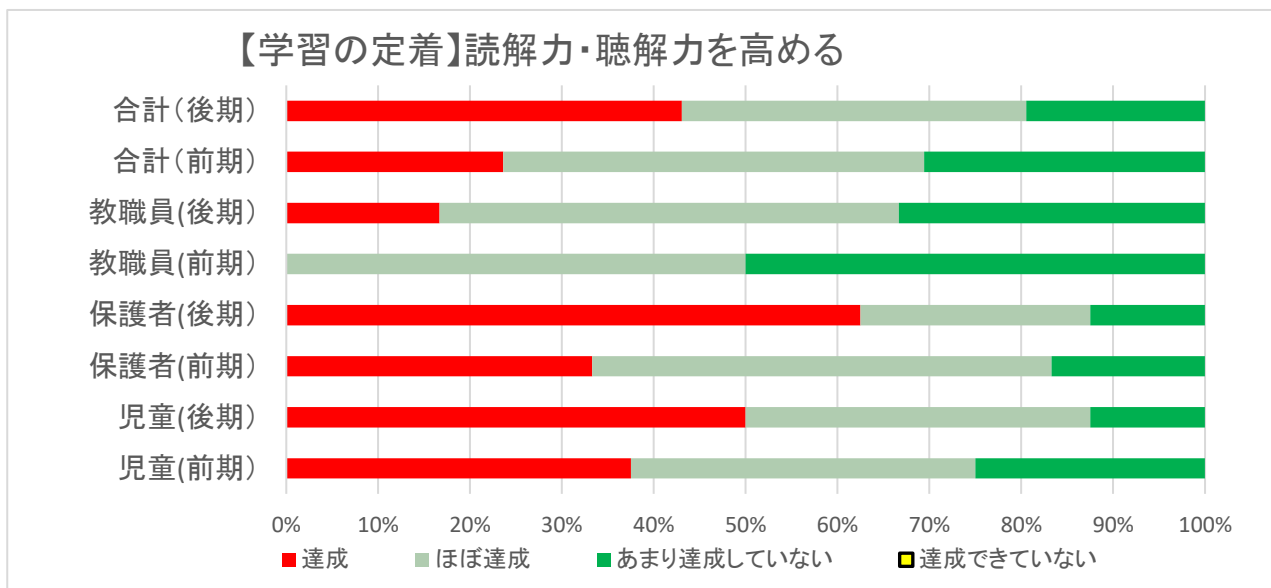
●少し苦手だから。

保護者：記載なし

教職員：○研修を通して、算数科を中心に様々な ICT 機器を使って、効果的に授業にいかすことができた。デジタルコンテンツやロイロノート、スライドなど、活用の機会を増やすことができた。今後は、自分たちで最適なものを選び、活用できるよう指導していきたい。

☆評価としては、特に教職員の評価が全体的に底上げされており、「あまり達成していない」と評価した教職員がなくなっている点大きい。全体的に高い評価をいただいているが、保護者に関していえば「達成」のパーセンテージが少し下がっており、これからも気を抜かずに、校内研修と絡めながら指導方法の工夫・改善に努めていければと考える。

2 【学習の定着】読解力・聴解力を高める



児童：○だいたいスラスラ読む。ちゃんと文字を見て、読めているのでいいと思います
最近本読みが早くなったから。

●読めない部分もある。文が苦手だから。よむのがにがて。

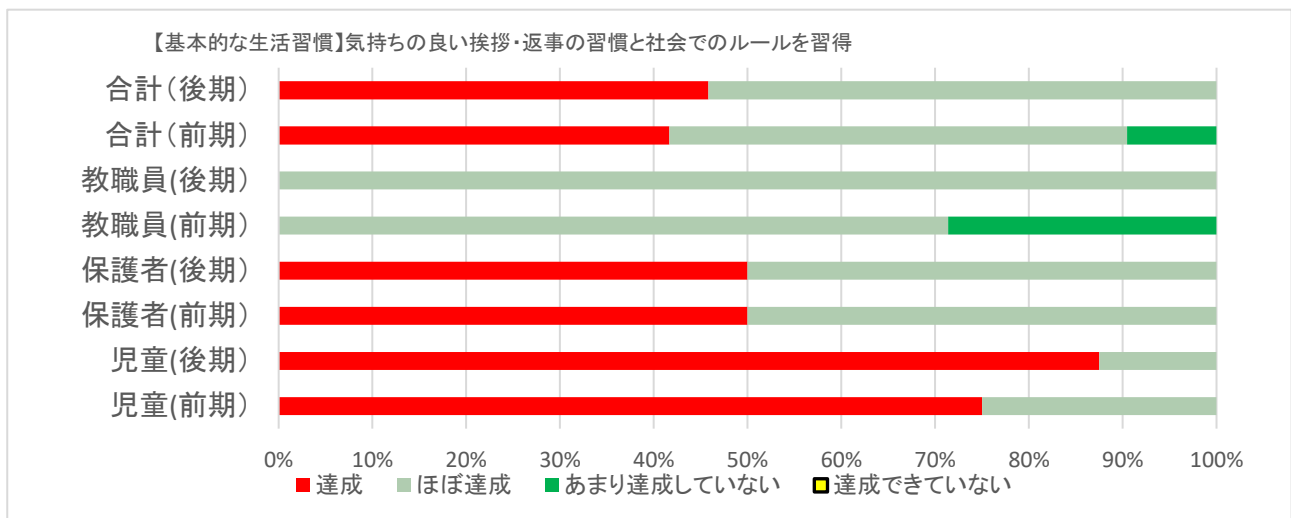
保護者：○音読の宿題を頑張っていて、何回も読むうちに文章を理解して、すらすら読めるようになってい
ます。

教職員：○個別の指導計画や評価を作成したことで、あらためて一人ひとりの実態と課題に向き合った授業
ができたと思います。テストで良い結果を得ることができた。ほぼ達成であるが、文章読解力は
算数科以外にもすべての教科や生活と結びつくと感じるし、まだ十分身につけているとはいえない
と感じるから。

●評価の充実をはかったが、学力の定着にはいたらなかったように感じた。算数の基礎学力は付
いてきていると思います。読解力に関してもっと力を付けさせたいと思いました。言葉を読み
飛ばして正確な内容を掴めなかったり、内容を理解して表現できなかつたりしていた場面があ
りました

☆この項目も前期と比べて、全体的に評価の底上げが見て取れる。児童・保護者・教職員ともに、評価が上
がっていることから、教師の指導工夫の効果を実感し、その結果児童も読解力・聴解力の向上を実感し、
ご家庭でもその様子が伝わっているという好循環と考えられる。それでも、全体で見ると約 20%が「あま
り達成していない」となっており、教職員の評価もまだ高いとは言え切れないことから、今後も、「読解
力・聴解力」を重要指導事項ととらえ丁寧な授業での指導を継続しながらも、学校生活の様々な場面で児童
がより読解力・聴解力を高めるきっかけを増やしていければと考える。

3 【基本的な生活習慣】気持ちの良い挨拶・返事の習慣と社会でのルールを習得する



児童：○いつも先生たちに元気に挨拶してる。いつもしている。いつも朝元気良く挨拶をしています。いつも通りみんなに挨拶してる。声が大きいから。

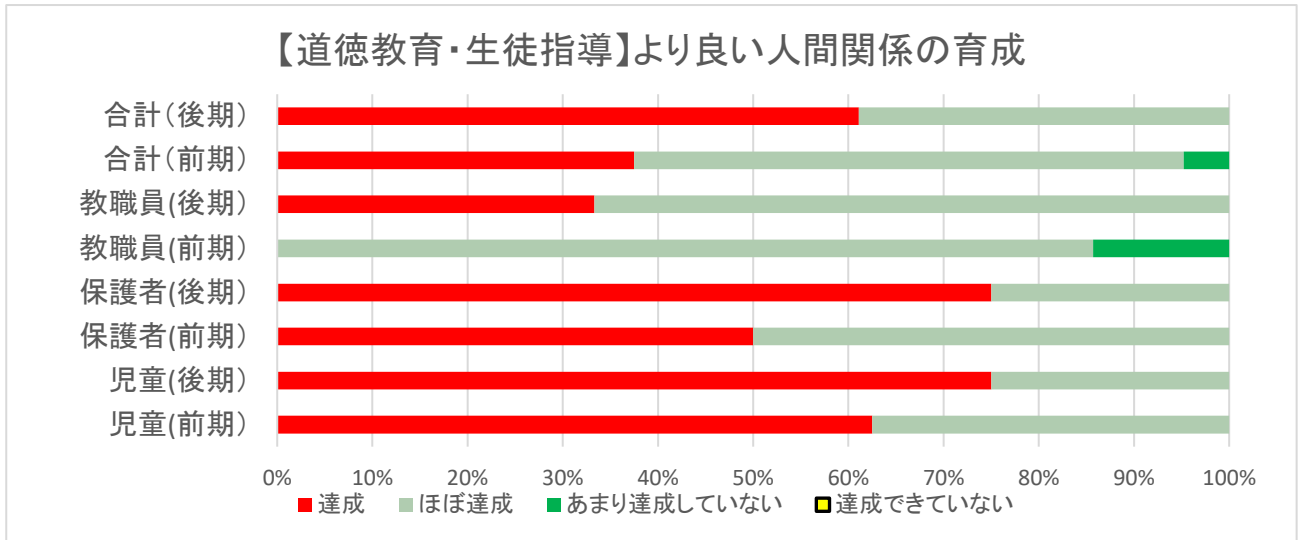
●(挨拶を)言えない時がある。

保護者：○学校ではきちんと挨拶しているのかもしれませんが、家庭では…と思うところです。

教職員：○日頃からくりかえし全体・個別に指導したり、話し合ったりしている。定着については、個別の
差がある。ほぼ達成にしたのは、この少人数の集団の中で、十分な社会性を身に着けるには足
りない部分が多いと感じるため。どうしても大人数の母体でもまれることが必要。校区連携や
オンライン学習でも限界はある。

☆教職員の評価から「あまり達成していない」がなくなり、児童の評価も上がっている。おおむね高い評価
を継続できているが、保護者からの回答にもあるように挨拶は「学校だけでなく、ご家庭も含め、あらゆる
場所や場面で」身に着けたい。今後も結果に甘んじることなく、児童によりよい社会性を身につけるべく、
継続的な指導を心がけたい。

4 【道徳教育・生徒指導】より良い人間関係の育成



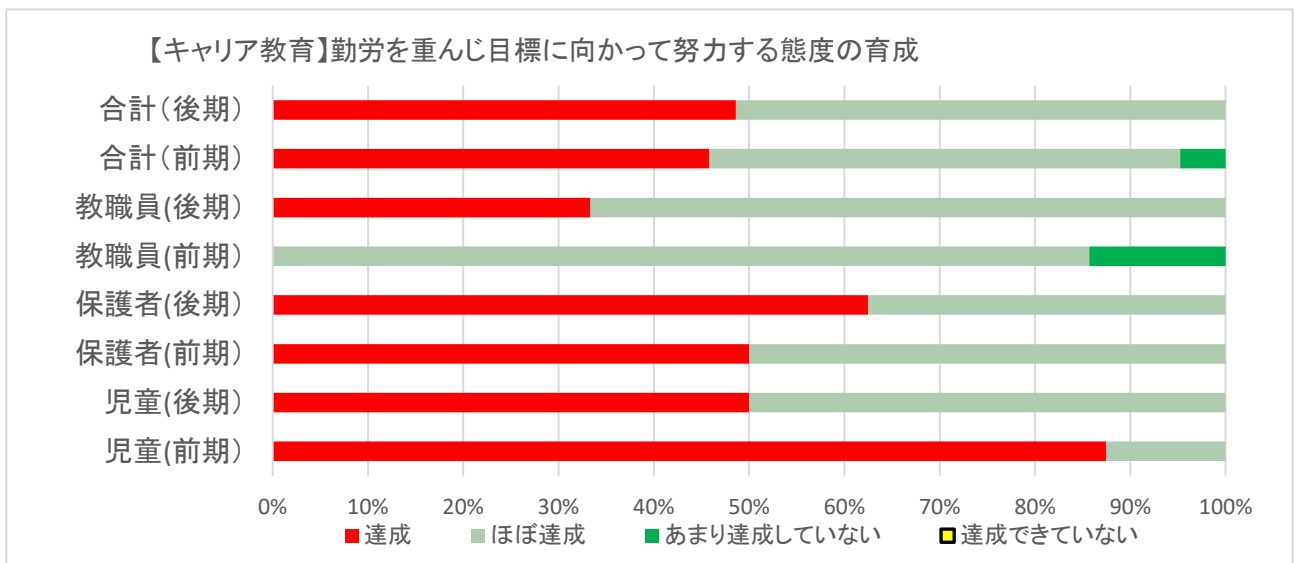
児童：○友達のいいところに気づいて仲良くしてる。いつも仲良く過ごしてるからみんなと仲良くすごしています。みんな優しい。いつも仲良くしてるから。

保護者：○児童数が少ないため、みんな仲良しだが、上の子どもたちへの憧れをもったりするところがいいと思う。横の関係性が乏しいが、駒場小学校との関わりを持てるようにしてもらって感謝です。

教職員：○日頃からくりかえし全体・個別に指導したり、話し合ったりしている。定着については、一人一人の差がある。全体的に自己肯定感は高くなってきていると思います。十分できていることでも、本人の中で評価を低くしていることもあるので、具体的に褒めて自信を付けさせたいと思います。

☆この項目も、児童・保護者・教職員すべてで評価が上がっている。学習指導と同様に、指導と児童・家庭での実感の間での好循環が生まれていると考えられる。ただ、少ない児童数の中での言葉の行き違いによるトラブルも多少は見受けられていたので、今後も、小さな目を見逃さず、些細なトラブルは今後の成長につながる好機ととらえ、教職員で共通認識に立ち、指導に当たりたい。保護者との連携も引き続き大切にしていきたい。

5 【キャリア教育】勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成



児童：○みんなのために進むことができました。しっかりやっているから。

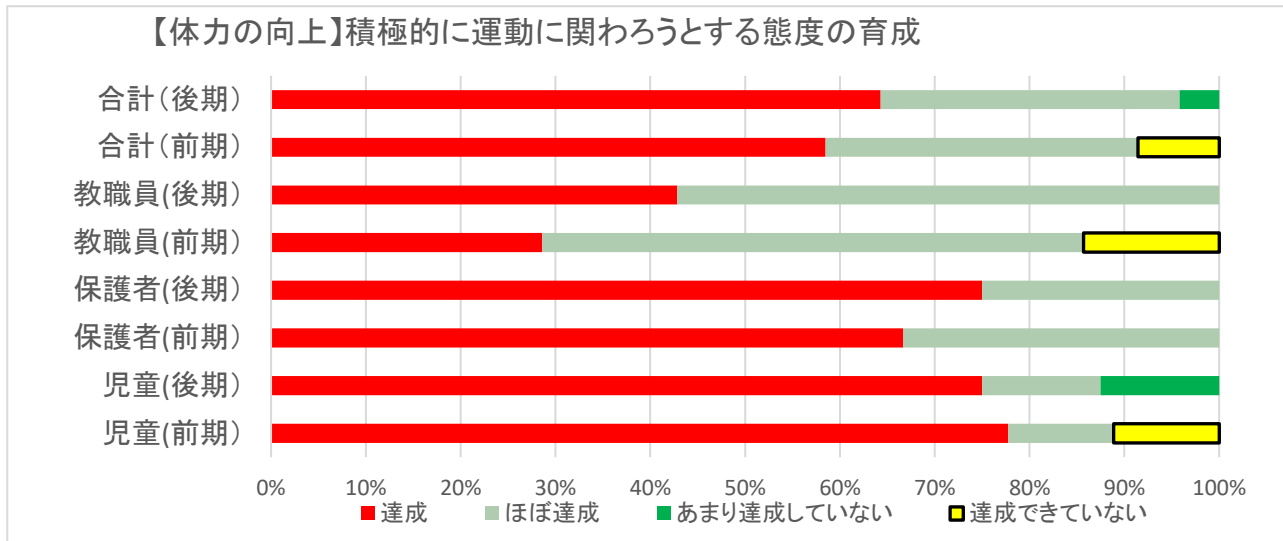
●たまに忘れることがある。係活動が微妙。

保護者：○お家で話してくれている様子を見ると、意欲的にやっているのかな？と思います。行事や新学期にはクラスでの目標を決めて掲示して行なっていると思うので。

教職員：○「何のため」を考えさせる機会や、振り返りの時間を大切にすることで、身につけてきたように思う。

☆この項目も、引き続き高い評価を維持している。記載事項を見ても、教職員の取組が少しずつ着実に浸透してきたことが、ご家庭にも伝わっているととらえられる。ただ、児童の評価においては、若干さがっているように見受けられることから、児童が自分の役割を日々しっかりと達成できるように声掛けや働きかけの継続を図り、自己肯定感の向上につなげていきたい。

6 【体力の向上】積極的に運動に関わろうとする態度の育成



児童：○いつもみんなで楽しく遊んでる。いつも遊んでいます。いつも体育館でサッカーとかしているからすごく元気にすごしています。サッカーを、たまにみんなでやる。休み時間にいつも動かしているから。

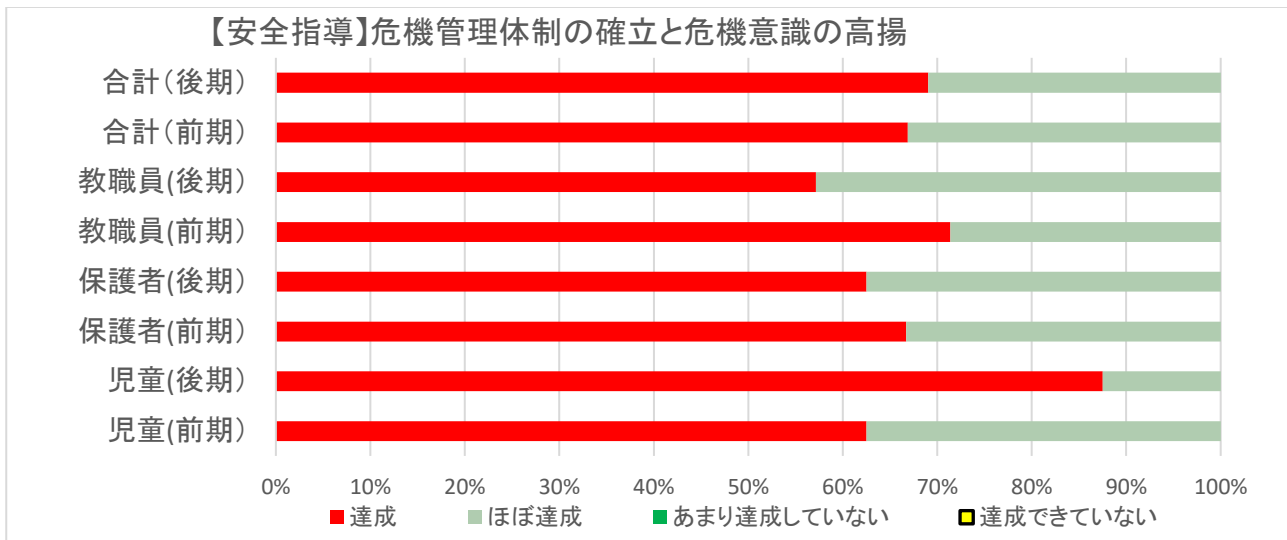
●運動があんまり。

保護者：○スケートリンクがなくなって、冬は外でのスポーツがなかなかできないので、運動不足が気になりますが、スケート指導の時に細かく教えていただいたので楽しく上達出来ました！子どもの人数に対して、先生がたくさんいてくれて手厚い指導、安全への配慮をしていただきました。

教職員：○コロナ禍があけ、様々な運動に取り組むことができた。学校としてのカリキュラムの中で、運動をする機会が沢山設定され実施されていた。登下校について、この人数と6年生不在の中で、自己なく安全に登校できたことは立派です。次年度は新1年生5名と住居地も点在しているので、安全管理を徹底する必要がある。体育の時間はもとより、朝の体力づくりの時間も大切な時間として、いろいろな運動をする機会を設けることができた。また、児童会として、週に1回積極的に体を動かすことのできる時間をつくったり、休み時間に児童と体を動かしたりすることができた。体力差はありますが、休み時間の運動など積極的に行っている児童が多かったと思います。

☆この項目も「達成できていない」という評価がなくなり、全体的に評価の向上が見られる。教師側で様々な工夫をして体力向上に取り組んでこられたこと、そして、少人数ならではの行き届いた指導ができていることに保護者も満足していただいていることが記載からも感じられる。今後は、これまでの取組の成果を受け止めながらも、例えば体力テストの結果のようなエビデンスに基づいた成長の実感や、学校の取組をより説得力をもって説明できることも重要になってくると感じている。

7 【安全指導】危機管理体制の確立と危機意識の高揚



児童：○気をつけて遊んでる。ちゃんと右左をみているから安全に遊びんでいます。

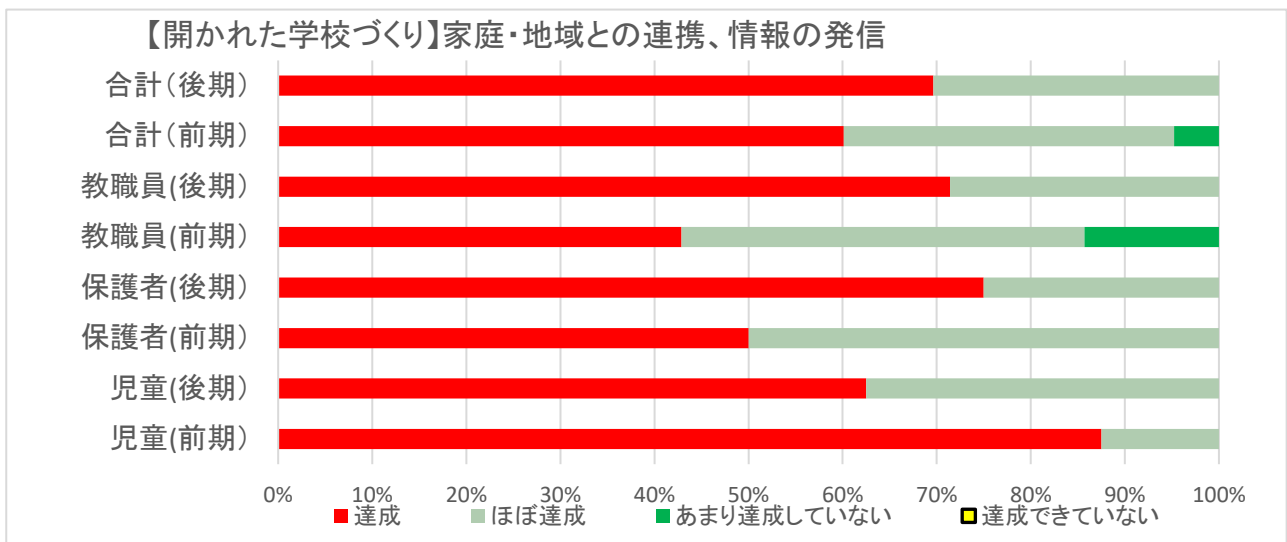
手加減したほうがいい。気をつけてる。けがしてないから。

保護者：○子供たちは学校での避難訓練や家庭にはまちこみメールなどを通して連絡をいただいている。地震でのニュースを見ることが多く、いつ自分たちがそうなるかかわからないということを子どもたちも大人も知っておく必要があります。なので、日頃の避難訓練など役に立つと思います。

教職員：○学校長を中心に、安心安全な学校が作れていたと思う。

☆グラフからは、教職員の危機管理意識の高さが、児童への指導につながっていることが見受けられる。保護者からも、避難訓練や防犯に関わる情報発信がしっかりと伝わっていることが分かる。次年度も防犯教室のような直接学校の防犯につながる講習会も大切にしつつ、新入生が加わり通学路も若干変更になることと、熱中症対策の重要性を鑑み、様々な方面から児童の危機管理意識を高め、児童の安全を守ることに教職員の共通認識に立って進めていきたい。

8【開かれた学校づくり】家庭・地域との連携、情報の発信



児童：○いつも親に学校のことを話している。いつも家に帰ったらランドセルからプリントを出しています。渡したり、話したりしているから。（親が学校のことを）聞かせてとうるさいから。帰ったらすぐ出しているから。

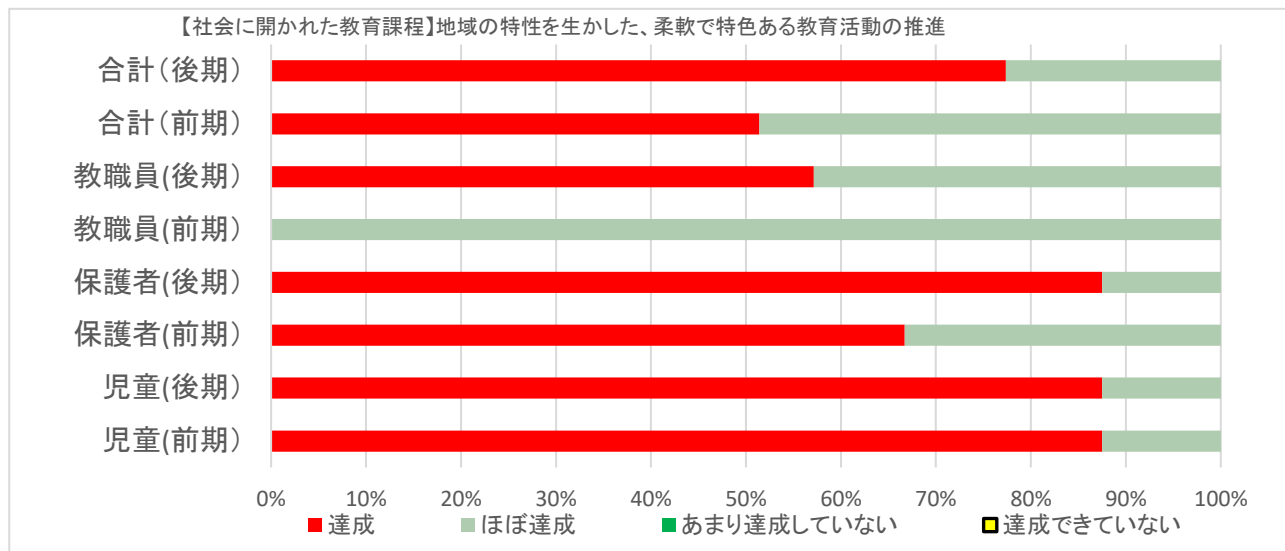
●忘れるときもある。

保護者：○いつも何かあると直接教えていただけています。

教職員：○小規模校の良さである、家庭・地域との連携を密にし、成長や課題を話し合った。個人面談や連絡帳等を使用し保護者との意思疎通を図ることができた。

☆保護者・教職員の評価は上がっている。児童も、記載からは学校からの配布物をしっかりと保護者に渡していることが分かるし、ご家庭でも学校からの情報発信をしっかりとらえていただいていることが伝わってくる。今後も、学校からの適切な情報発信を継続するとともに、コロナが明けて地域とのつながりも少しずつ戻りつつある中で、ニューノーマルな地域とのかかわりを構築していくこと、それを地域にも理解していただくことが大切になってくる。

9 【社会に開かれた教育課程】地域の特性を生かした、柔軟で特色ある教育活動の推進



児童：○農園活動は、楽しいです。すごく楽しい。話を聞いててわかりやすいしお話を聞いていると楽しくきけています。初めてだけど楽しい。農園活動、とても楽しくできたから。

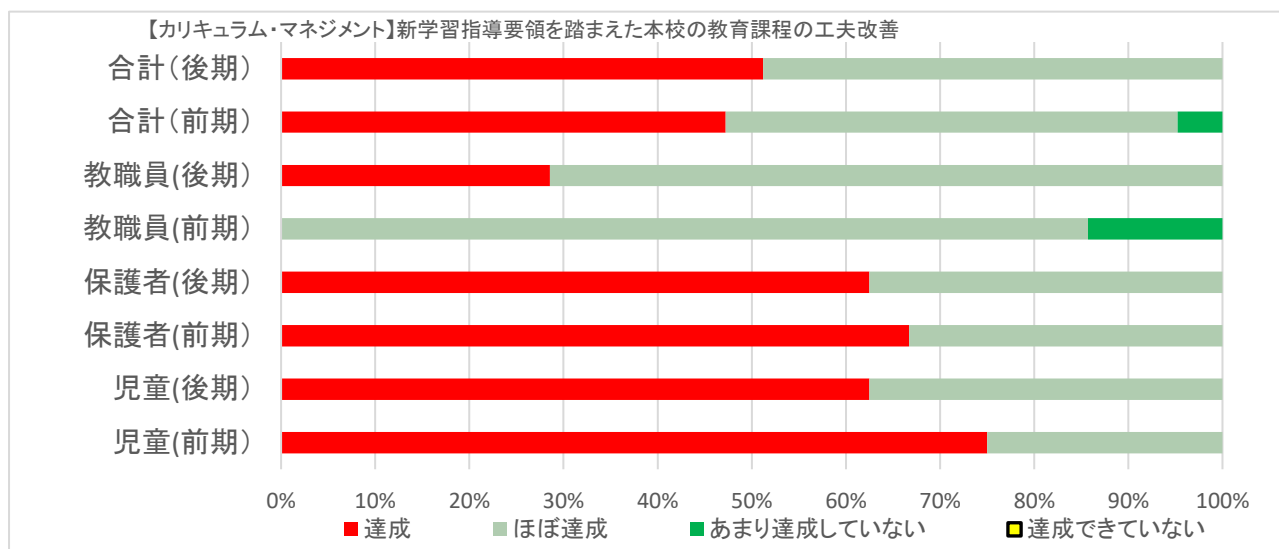
保護者：○不審者に会った時の実践体験や、自分が普段食べているものがどうやって育つのかという過程をしっかりと勉強していると思います。炭作り体験、そして、それを利用し自分たちで育てたさつまいもから焼き芋作りなど、この地域ならではの体験がとても良いと感じました。

教職員：○地学協働と連携して、様々な経験を児童にさせることができたと考えている。東土幌小学校ならではの環境学習（炭焼き）、収穫フェスティバルと、どれも終わったあとも思い出したり、考えたり、児童の学びとなるものだった。東土幌小学校らしさを体現できていたのではないかと思います。

☆特に、教職員の評価が大きく上がっている。特に後期は、教務が中心となり地域と連携した諸活動を実施できたことが大きいと感じている。今後も特色を生かした教育活動を継続しながら、教科横断的な授業も令和の学びの中で重視されているので、学級・学年単位でも積極的に進めていければと考える。

10 【カリキュラム・マネジメント】新学習指導要領を踏まえた本校の教育課程の工夫改善

※児童設問は「毎日、見通しをもって、授業や学級活動に取り組んでいますか」となっています。



児童：〇ちゃんと活動に取り組んでいます。忘れないでできている。楽しくやれてるし、学級活動はめちゃくちゃ楽しかったです。授業は楽しい。集中していたから。

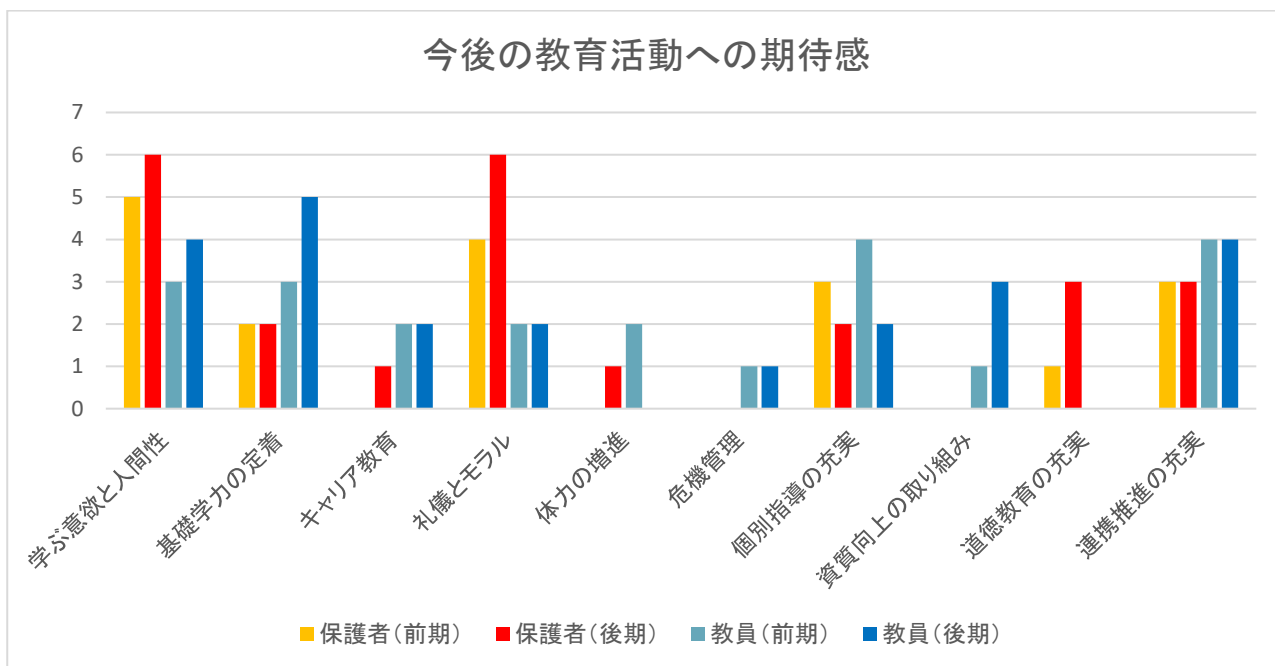
●忘れることもある。

保護者：〇学級通信や懇談会の時に教えていただいているので。

教職員：記載なし

☆評価からは、学校の教育方針及び教育課程にご家庭から理解いただいていること、そして、児童もしっかりと目的意識をもって日々授業に臨んでいる。そして、教師側も教育課程を意識して日々の教育活動に取り組んでいることが分かる。既にコロナ後であり、これからは教育課程を元に戻すだけでなく、教育課程に基づきながら、より充実した学習に結び付けていければと考える。

後期の取組（力を入りたい教育）



☆上のグラフから、今後の東土幌小の重点課題を3つに絞ると、

「学ぶ意欲と人間性」「礼儀とモラル」「基礎学力の定着」

となる。「学ぶ意欲と人間性」については、保護者、教職員の一致した願いである。自ら学んでいこうとする、前向きに挑戦していく姿勢は、生涯にわたって大切な資質である。具体的には、子どもを主語とした学びの保証、学校生活全体にわたって人間性の向上を意識した生活指導など、家庭と共通認識に立ち、進めていければと考える。

そして保護者は「礼儀とモラル」、教職員は「基礎学力の定着」を、それぞれ次に重視していることが分かる。

「礼儀とモラル」については、3【基本的な生活習慣】の回答にある通り、学校では行えている社会的マナーが、ひとたび学校を出ると場面によってはできていないことがあるためと考えられる。重要項目にあげている教職員が少ないことから、学校ではある程度できているのではないかと考えられる。「いつ、いかなる時も」というのは大人でも難しいことだが、相手や場所を選ばず、必要な礼儀やマナーを実践できるような児童に育てていきたい。

「基礎学力の定着」は、2【学習の定着】からもわかる通り、十分に身につけていないと感じている教職員が多い。重要項目にあげている保護者多くないのは、見方によっては教職員のこれまでの指導の成果にある程度ご理解いただけている、と捉えられなくもないが、教育のプロとしての厳しい視線を大切に、常に向上心をもちながら継続指導を心がけたい。

他の項目についても、ご家庭にご理解とご協力をいただきながら教職員が共通認識にたち学校づくりに取り組んできた成果と捉え、これからもより良い教育活動を継続していければと考える。

<そのほか>

児童：・気になってることは、ありません。これからもよろしくお願いします。

保護者：・いつもありがとうございます。

・このアンケートですが、初めて書きましたが、**アナログ人間には手書きが良かったり**します。どちらも対応していただけたら嬉しいです。

→学校としまして、少しでも意見の届きやすい環境を整備しようと思っておりますので、**次年度のアンケートから紙媒体とオンライン回答のハイブリッドで行うことを検討しております。**

・スケートリンクがなくなりましたが、冬休み**学校にリンクがあったら毎日のように連れて行けるな**あと思ったりします。小学校に上がる年長の時は、小学生になったら乗れないと困るから練習をしていました。保育所の方も使いやすと思います。お父さんの負担は増えますが、子供たちのために作ってもらえたらいいですね。〔先生たちは大変なので、父のみ〕

→お子様のスケートのご指導について、**大変前向きなご意見ありがとうございます。**ただ、散水車等のリンク作りに必要な物品は要望のあった町内他校へすでに譲渡しており、**今現在、本校にはリンク作りに必要な環境が十分整っていない状況であることをお伝えいたします。**

・片山さやかさんが来校していただいて、その演奏を母たちも聴く機会がありました。それで、片山さやかさんという方を知り、普段コンサートに行かないと聴けない演奏を身近で気軽に聴ける機会をいただけて、ありがとうございます。素敵な時間でした。

・中学生の子が**小学校の給食がおいしすぎた**と妹に伝えています。毎日おいしい給食を当たり前前に食べていますが、感謝をお伝えしたくて。

・ありがとうございます。

・**収穫フェスティバルの復活、とても良かったです！**準備など大変だったと思います、ありがとうございました。

・とにかく、ありがとうございますの感謝しかないです。子どもが学校に行くのが楽しいと思って通っているのは**お友だちと先生のおかげ**です。

・少ない人数だからこそできること、**少ない人数の良さを最大限に利用した、東士幌小らしい活動をこれからもしてほしい**と思います。人任せにはできない環境で、個々の責任ややらなければ行けないことの負担が大きくなってしまおう一方で、1人1人が輝ける貴重で素敵な機会がたくさんある、そんな環境がこれから色々なコミュニティーへ向かう中で強みになると思っています。これからもよろしくお願い致します。